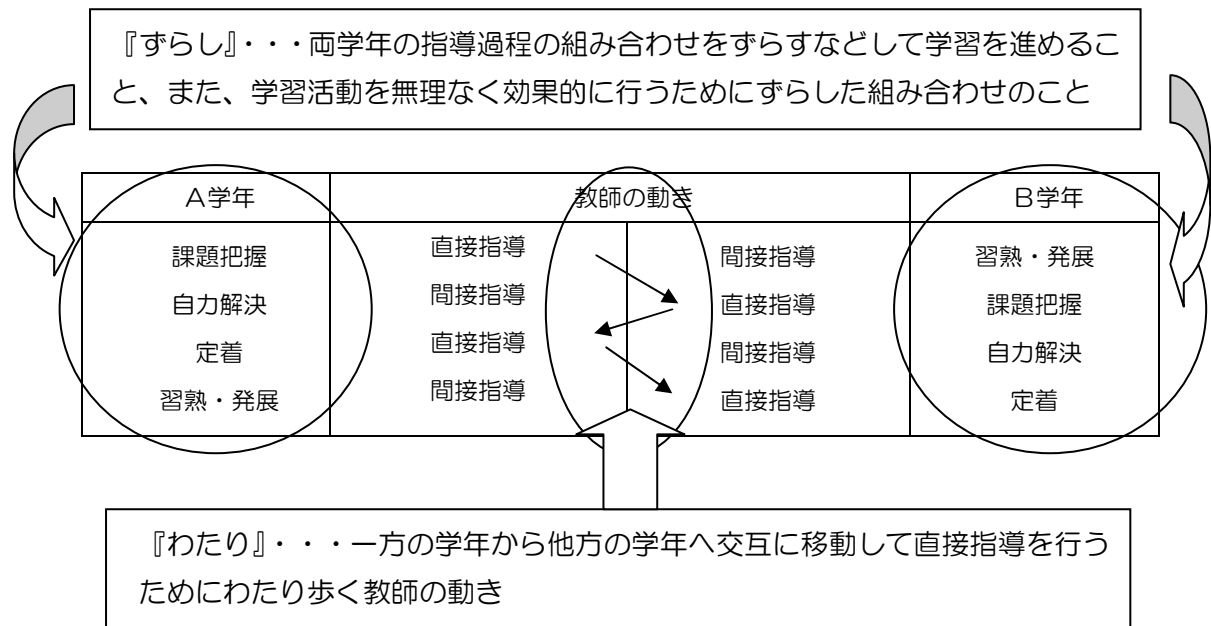


(3) 複式授業のポイント



教材研究

指導目標を明確に持ち、授業内容を焦点化させる

☆教えるところと考えさせるところを明らかにし、「わたり」を考える。(時間配分も)

☆単元全体を見通して、授業構成をする。

(例：両学年同時に新しい単元に入り、導入を行ったほうが良いか、片方が単元のまとめの時間に、もう片方の学年は単元の導入を行ったほうが効果があるかを考える。等)

直接指導

間接指導に入る前の指示を徹底する。

☆間接指導時にすべきことが、分かるようにしておく。

☆解決に対する具体的な見通しを持たせる。

子どもの考えを揺さぶる。

☆間接指導時の一人学びやとも学び(ペア学習)を生かす。



間接指導

子どもに単元全体の学習の流れや、1時間の授業の流れを把握させる。

☆学習の手引き等を活用し、学習リーダーの主体性を育てる。

☆一人学びの手順や、ルール、学習計画表などを掲示しておく。

☆ノート指導やヒントカード、ワークシート等を充実させる。

